

2020年8月25日



キリスト教センター 通信 Vol.12

激励メッセージリレー



タイトル

『平和を実現する人』

チャプレン 河村 博之

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイによる福音書 5章9節)

今年は、8月6日、広島での平和学習(ヒロシマ平和旅考)は、新型コロナウイルスの影響により、中止になりました。折角用意していた、折り鶴奉納もできませんでした。残念と思う反面、この日を含む数日、チャペルでは昼の礼拝の中で、戦没者と世界平和について、祈り・求める時間を、キリスト教センタースタッフで、守りました。

また、わたし個人としては、新聞の記事や証言に改めて目を留めてみることにしました。そのキッカケは、去年の平和旅考で、平和祈願ミサの中でのカトリック那覇教区ウェイン・フランシス・バートン司教のメッセージを改めて思い起こさせられたからです。アメリカ人の司教は、「平和を実現することは、まずはあなたの身近なところから始めることです。」と語られました。

今年は、このような状況ですが、平和を求める心は、変わりません。たとえどのような中であっても、今できることをまずは気に留めてみましょう。そして、小さくても始めて行きましょう。

キリスト教 一口メモ 「平和」・「安寧(アンニョンハセヨ)」

今から20年ほど前、仕事で、韓国(ソウル市内)へ行きました。

そこで聞いた話ですが、挨拶の言葉で「アンニョンハセヨ」という言葉があります。「アンニョン」は、「安寧」を意味し、挨拶を交わすごとに、「安寧」であることをお互いに確認し合うとのこと。

教会では礼拝の中で、平和の挨拶があります。「主の平和が皆さんとともに」「また、あなたとともに」「平和の挨拶を交わしましょう」この時、「神様がわたしたちと共におられる」ことを覚えて挨拶を交わします。

皆さんは、毎日どんなことを考えながら、まわりの人たちと挨拶を交わしますか。

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

豪雨災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにある人びとを支えてくださいます。どうか今、全国各地での豪雨災害によって苦難のうちにある人びとを顧み、ふたたび立ち上がる力をさずけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

